



D.I. 質問箱

Q64

アレルギー検査の MAST26 が MAST33 へ変更されましたが、クラス分けが変わっています。どのように解釈すればよいでしょうか。

A64

MAST26 と MAST33 のクラス分けは下表のとおりです。

MAST33 は、感度の向上とともに測定レンジが広くなり、結果判定についても5クラス分類から7クラス分類へと改良されました。

疑陽性については、従来の MAST26 では「クラス 1/0」と表記されていましたが、MAST33 では「クラス 1」と表記されます。また、MAST26 では「クラス 1」以上が陽性でしたが、MAST33 では「クラス 2」以上が陽性となります。

判定	MAST26	
	クラス	ルミカウント
陽性	3	20.1 以上
	2	11.3 ~ 20.0
	1	4.41 ~ 11.2
疑陽性	1/0	1.01 ~ 4.40
陰性	0	1.00 以下



判定	MAST33	
	クラス	ルミカウント
陽性	6	160 ~ 200
	5	120 ~ 159
	4	58.1 ~ 119
	3	13.5 ~ 58.0
	2	2.78 ~ 13.4
疑陽性	1	1.40 ~ 2.77
陰性	0	0 ~ 1.39

※MAST26 と MAST33 とでは数値を直接比較することはできませんのでご注意ください。

お問合せ：学術データインフォメーション (D.I.) 課まで

0120-14-8734 (フリーダイヤル) / 082-247-4325 (ダイヤルイン)



きやうちボール



構築乱れを伴う高濃度腫瘍 (カテゴリーV)！？
実は雲隠れした三日月状部分日食

7月22日、妻から日食を撮るよう頼まれた。日食は見たいが写真で撮るのは難しそうだ。しかも渡されたのは光学カメラ(注:デジカメで太陽を撮ると壊れる危険性あり)。目が潰れるかもしれない…。持ち前の楽観主義から引き受けてしまったが、暇がなくて撮れなかったという言い訳はできる。

その日の検査は順調に流れ、午前11時10分から5分間仕事に間ができた。外に出ると昼前にもかかわらず異様に暗く、空を見上げると欠けた太陽が雲に隠れ眩しくない。望遠レンズで見た三日月状の太陽に感動した。シャッターチャンス！ 激写！ 激写！ しかし出来た写真はマンモグラフィにそっくり。この写真どう思われますか。 前田 亮(臨床部長)

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博 / 熊川 良則 / 高磨 潤

